

◆第5回 テーマ別読解演習「学校空間」①／物語文

今回は物語文の学習で、テーマは学校空間です。物語文ですので、場面の変化や登場人物の心情の変化に注意して、作者が何を言いたかったのか、その主題にせまっていくようにしましょう。学校空間がテーマなので、生徒同士の友情や成長がテーマになることが多いです。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問四 心情の変化の問題です。具体的に書くようにします。
問五 理由記述の問題ですが、単に出来事だけでなく、心情も書くようにしましょう。
問七 暗示・象徴の問題です。物語文ではよく出題されますので、こういう問題の解法をおさえるようにしましょう。
- ㊦ 問二 登場人物の様子から心情を類推する問題です。傍線部の前後に書いてある出来事にも注意しましょう。
問三 自分の思いと洋子の行動を対比させるように書きましょう。
問七 比喩表現を自分なりに具体化してから選択肢を読んでみましょう。
- 宿題 問四 色紙の言葉に対する思いを読みとります。
問六 登場人物の設定についての問題ですが、さりげなく登場人物の情報が物語文には描かれているので、そこを見落とさないように気を付けましょう。

◆第6回 テーマ別読解演習「学校空間」②／物語文

今回も物語文の学習で、テーマは学校空間です。文章も長くなっているので、最後まで読み切る集中力が重要です。特に登場人物にはチェックをいれて、人間関係を明らかにしましょう。また、百字以内の長文記述問題の対応の仕方も学んでいきます。

- ⊙ 問三 具体化する問題です。傍線部の前後の出来事を確かめます。
問七 百字以内でくわしく説明する問題です。傍線部に至るまでの登場人物の心情の変化を丁寧に追ってくわしく書くようにしましょう。
問九 「思い切り雑巾をしぼった」という表現に注意して選択肢をよく読みましょう。
- ㊦ 問二 この理由記述も、出来事だけでなく、心情表現も書きましょう。
問五 比喩的な内容をわかりやすい表現になおす問題です。その比喩表現を使ってなにが良かったかを考えて、正しい選択肢を選びましょう。
問八 主題に関する問題です。文章全体の出来事をおさえて考えましょう。
- 宿題 問一 「値段まで」の「まで」という細部表現に注意して心情を読みとりましょう。
問四 具体的な出来事を書きましょう。登場人物の会話もヒントになっています。

◆第7回 テーマ別読解演習「学校空間」③／物語文

前回に続き、今回も物語文の学習で、テーマは学校空間です。㊦では、主人公の心の成長が描かれている典型的な作品ですが、中にはQのように、ゆがんだ「友達づきあい」を描いた作品もありますので、注意しましょう。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

㊦ 問二 指示語に注意すると同時に、強調することで、どのようなことが読み取れるか考えます。

問五 単なる具体化の問題ではありません。設問の聞き方の「どのような意味がこめられていますか」に注意しましょう。

問七 理由記述です。傍線部までの出来事をたどって答えを作成しましょう。

Q 問二 比喩表現を具体化する問題です。まずは「だれ」をはっきりさせましょう。

問六 これも比喩表現の具体化の問題です。「亡霊」という表現の意図を考えましょう。

問七 理由記述の問題です。単に出来事だけでなく、それによってどのようなになったのかまでふみ込んで書きましょう

宿題 問七 「考えられますか」という聞き方は、はっきり文章に書いていないので、根拠をもとに類推して答えを書くようにします。

問八 文章の特徴を説明した文章については、消去法を使って考えます。

◆第8回 入試問題研究②

今回は入試問題研究です。入試問題を解くのですが、時間を計って、解答用紙に書き込みます。入試問題なので、前回同様、難問に時間をかけ過ぎずに、問題選定をしながら解く実践的な学習をします。今回も文章題が2題と語句が1題です。㊦から取り組む必要はありません。全体を見わたして、解きやすいような問題から取り組みましょう。解答には配点を書いてあるので、WEBを見ながらマルつけをして、得点も出してみましょう。

㊦ 問二 比喩のねらいをしっかりと覚えて選択肢から選びましょう。

問五 この問題も比喩を具体化する問題です。

問十 正誤問題は、消去法を使い、本文の内容と照らし合わせながら考えましょう。

Q 問三 抽象を具体化する問題です。

問六 説明文では対比されて説明されることが多いので、何と何が対比されているかをおさえ、それぞれの特徴をおさえましょう。

問九 理由記述です。うまくまとめましょう。

- ・ Cの問題のように、与えられた条件をしっかりと覚えておく上で考える問題には注意しましょう。

10 月配信の 4 回分は、速さを中心に扱います。速さの比、N 回目の出会い、へだたりのグラフ、流水算、通過算と学習を進めていきます。9 月までに習ったことをもとに一部復習要素もありますが、さらに深い学習へと入ります。

また前回から、テキストとは別に前期内容の確認テストもあります。これらは一度テスト(30 分程度)として取り組み、前期内容の定着が図れているかどうかを確認してください。

【例題】はすべて動画で扱っていますので、まずはこの【例題】をしっかり理解した上でほぼその類題と言える【練習問題】に取り組んでみてください。【練成問題】というのは【例題】から多少派生した問題を中心に収録しており、その中で【例題】と少し離れるタイプの問題のうち特に重要なものを中心に動画で扱っております。

◆第 24 回 速さ(8) 速さにおける比の応用に関する問題

① 【例題】と【練習問題】

【例題】はすべて動画が用意されています。

どの回でも、必要に応じて、式、図、表、計算、答え、単位は必ず書くようにして欲しいと思います。

【例題 1】 3 公式と比の合成。比は 1 の表す量がそろっていないと単純に加減はできませんが、乗除は自由にできることを利用する問題です。(2)は時間の比をまず求めることに気づかないと難しいでしょう。

【例題 2】 歩幅と歩数に関する問題。この問題でも比の合成を使いますが、(2)は 6 年生でも苦手とする人が多いタイプなので、しっかり取り組んでみましょう。

【例題 3】 くるった時計に関する問題。片方の時計が○時を示したときに他方の時計が△時を示したということを線分図などで表現するとわかりやすくなります。基本的には同じ時間に針の回る目盛り数の比を考えるイメージになります。

各【例題】の動画を見て理解したら、必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はいくつか選択的に動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

基本的に【例題】と関係の深いものとなっています。

③ 確認テスト・宿題などについて

【練成問題】の後 A, B, C, D 問題がありますが、宿題としては A, B 問題としています。ただ余力があれば、そのあとの C, D 問題に、一部でも結構ですので取り組んでみてください。とはいえ C, D 問題の中には入試問題レベルのものも入っていますので、難しいと感じた場合は深追いする必要はありません。

なお第 24 回からの A 問題は、別添の確認テストの範囲に関する問題となっています。

第 24 回の確認テストは、前期の第 1 回～第 3 回の内容、すなわち比と割合の基本に関する単元からの出題となっています。

◆第 25 回 速さ(9) 速さの色々な問題

① 【例題】と【練習問題】

【例題】はすべて動画が用意されています。

どの回でも、必要に応じて、式、図、表、計算、答え、単位は必ず書くようにして欲しいと思います。

【例題 1】 2 人が両方から出発するタイプの N 回目の出会いに関する問題です。N 回目の出会いに関する問題は、線分図の方がイメージしやすいことが多いでしょう。なので、グラフを書いてもそれを線分図に置き換えると理解しやすくなると思います。両端から出発する場合は、最初に出会うまでと、それ以降の出会いは進むべき距離の和が変わることに注意してください。

【例題 2】 2 人が同じ地点から出発するタイプの N 回目の出会いに関する問題です。同じ地点から出発する場合は、最初に出会うまでも含めて、出会いごとに進むべき距離の和が等しくなります。

【例題 3】 ヘダたりグラフ。そのままではわかりにくいので、進行グラフもしくは線分図に置き換えてみましょう。ヘダたりのグラフが折れているところで何が起きているのかを考えることが重要です。

各【例題】の動画を見て理解したら、必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はいくつか選択的に動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

③ 確認テスト・宿題などについて

【練成問題】の後 A, B, C, D 問題がありますが、宿題としては A, B 問題としています。ただ余力があれば、そのあとの C, D 問題に一部でも結構ですので取り組んでみてください。とはいえ、C, D 問題の中には入試問題レベルのものも入っていますので、難しいと感じた場合は深追いする必要はありません。

なお A 問題は、別添の確認テストの範囲に関する問題となっています。

また第 25 回の確認テストは、前期の第 4 回、第 5 回の内容、すなわち売買に関する問題、濃さに関する問題の単元からの出題となっています。

◆第 26 回 速さ(10) 流水算に関する色々な問題

① 【例題】と【練習問題】

【例題】はすべて動画が用意されています。

どの回でも、必要に応じて式、図、表、計算、答え、単位は必ず書くようにして欲しいと思います。

【例題 1】 4 つの速さ(上り, 下り, 静水時, 流速)と距離一定が関係している問題。流水算は、まず速さに関する情報を整理することが重要です。

【例題 2】 途中で船が故障するタイプの問題。グラフをかくとうまく整理できることが多くなります。

【例題 3】 流れの速さの消去。流水上のすれ違い、追い越しにおいては、順に速さの和と差を考えますが、静水時の速さのまま考えても流速が相殺されるので問題がないということを使うことができます。

【例題 4】 動く歩道、エスカレーターに関する問題。こういった問題も立派な流水算なのです。意外と中学入試においてはよく出題されますので、慣れておきましょう。

各【例題】の動画を見て理解したら、必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はいくつか選択的に動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

⑤で、流され始めてから気付いて折り返すまでの時間と、折り返して追いかけ始めてから追いつくまでの時間が等しいという事は重要ですので、その理由も含めてよく理解しておいてください。

③ 確認テスト・宿題などについて

【練成問題】の後 A, B, C, D 問題がありますが、宿題としては A, B 問題としています。ただ余力があれば、そのあとの C, D 問題に、一部でも結構ですので取り組んでみてください。とはいえ C, D 問題の中には、入試問題レベルのものも入っていますので、難しいと感じた場合は深追いする必要はありません。

なお A 問題は、別添の確認テストの範囲に関する問題となっています。

また第 26 回の確認テストは、前期の第 6 回、第 7 回の内容、すなわち仕事算と、比の応用に関する単元からの出題となっています。

◆第 27 回 速さ(11) 通過算に関する色々な問題

① 【例題】と【練習問題】

【例題】はすべて動画が用意されています。

どの回でも、必要に応じて、式、図、表、計算、答え、単位は必ず書くようにして欲しいと思います。

【例題 1】 速さの異なる通過に関する問題。速さが異なる場合は、速さを統一して考えていきます。

【例題 2】 追い越し、出会いに関する問題。厳密には、列車の長さを考える部分は出てきませんので通過算とは言えないかもしれません。しかし、6 年生でも苦手な人が多いタイプの問題になります。出会いの周期と追い越しの周期の逆比が、速さの和と差の比になるという考え方もあります。

【例題 3】 状況図をかくタイプの問題。通過算は、あまりグラフにするのは適切ではない問題が多くなります。特に「～が～に入ったときに、～は～を出て」というような条件は、状況図に書き表すしかありません。それらの状況を時間が異なるものはずらして書き加えていき、それらを比較して何がわかるかを考えていきます。

各【例題】の動画を見て理解したら、必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はいくつか選択的に動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

③ 確認テスト・宿題などについて

【練成問題】の後 A, B, C, D 問題がありますが、宿題としては A, B 問題としています。ただ余力があれば、そのあとの C, D 問題に、一部でも結構ですので取り組んでみてください。とはいえ C, D 問題の中には、入試問題レベルのものも入っていますので、難しいと感じた場合は深追いする必要はありません。

なお A 問題は、別添の確認テストの範囲に関する問題となっています。

また第 27 回の確認テストは、前期の第 8, 第 9 回の内容、すなわち角度や、直線図形の面積に関する単元からの出題となっています。